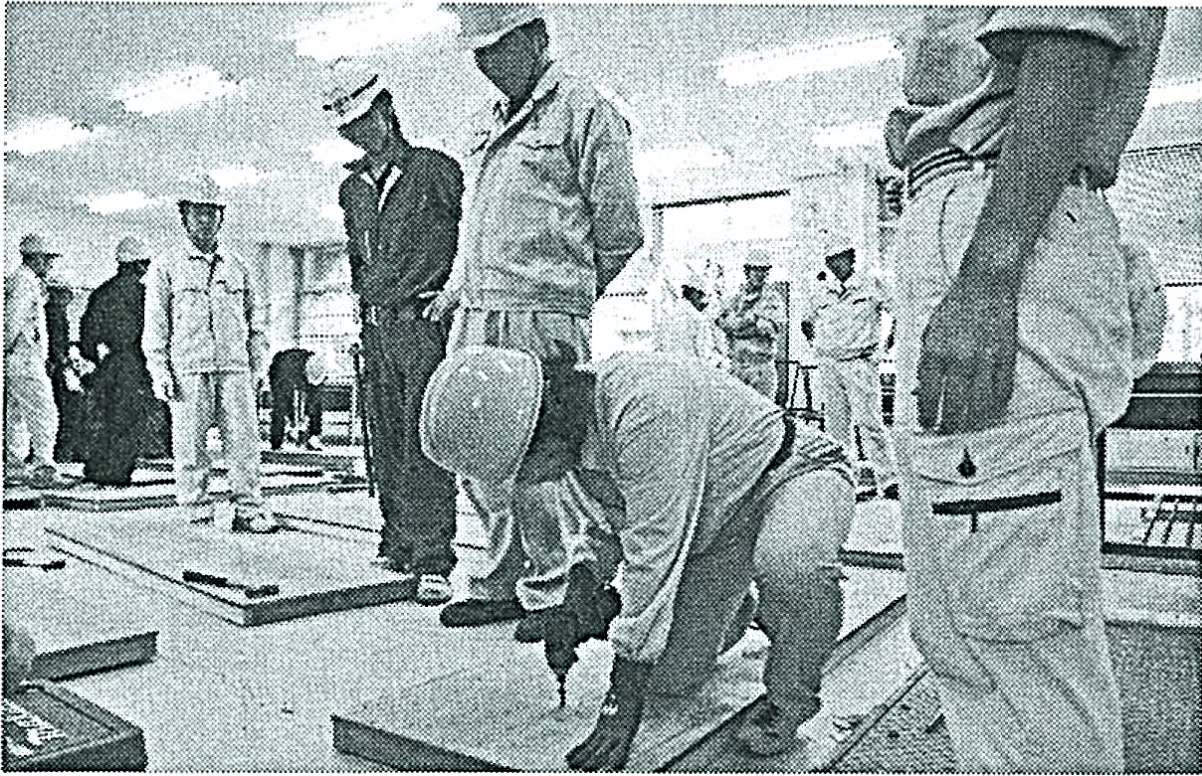


先生もスキルアップ



愛建協が専門工事の研修会

建設系の高校の先生を対象とする専門工事のスキルアップ研修が16日、名古屋市長立工業高校で開かれた。専門工事業界の協力を得て愛知県建設業協会が主催。11校から30人の先生が参加し、左官と鉄筋、型枠、足場の作業に取り組んだ。

建設系高校の先生であっても、実際の建設現場の経験のないケースがほとんど。研修の成果を授業に生かしてもらい、生徒の建設業への理解につなげるのが狙いだ。

足場の研修を受けた愛知県立半田工業高校の鬼頭朋世先生は「知識として知っているのと、実際に経験するのは大違い」と感想。また、名古屋市立工業高校の牧野陽一先生は「教科書に載っていない安全への細かな配慮が分かった」と話していた。

18人の建設技能者が講師を務めた。